3-7. ハザードマップの見方

自宅の周辺の詳細な状況を校区別マップにより確認しましょう。

避難行動判定フローを参考に、自宅の災害リスクやとるべき避難行動等を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は? 必ず取り組みましょう

いいえ

例外

いいえ

ハザードマップ※1で自宅がどこにあるか確認し、 印をつけてみましょう。

※1 ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域 を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起 こる可能性があります。

自宅がある場所に色が塗られていますか?

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地やがけのそば 等にお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて 避難してください。

災害の危険があるので、原則として※2、自宅 の外に避難が必要です。

はい

※2浸水の危険があっても、以下の場合は、自宅に 留まり安全確保をすることも可能です。

①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそ れの高い区域の外側である

- ②浸水深よりも高いところにいる
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料等の 備えが十分にある

で自身または一緒に避難 する方は、避難に時間が かかりますか?



安全な場所に住んでいて身を寄せられる 親せきや知人はいますか?

はい

警戒レベル3が出たら、 安全な親せきや知人 宅に避難しましょう。 (日頃から相談して おきましょう)



警戒レベル3が出たら、 市が開設している指定 緊急避難場所に避難 しましょう。

いいえ



安全な場所に住んでいて身を寄せられる 親せきや知人はいますか?

警戒レベル4が出たら、 安全な親せきや知人 宅に避難しましょう。 (日頃から相談して おきましょう)



警戒レベル4が出たら、 市が開設している指定 緊急避難場所に避難 しましょう。

いいえ



ハザードマップの見方①

必ず確認してください 浸水するおそれ が高い区域 土砂災害のおそれ がある区域 凡例

洪水浸水想定区域 (浸水深)

水害



1階床下 (1階床下浸水)

警戒区域

土砂災害

土砂災害のおそれがある区域

土砂災害 特別警戒区域

建造物に損壊が生じ、住民等 の生命または身体に著しい 危害が生じるおそれがある

ハザードマップの見方②

もっと詳しく知りたい人向け

次の3つが確認できれば浸水の危険があっても安 全を確保しながら自宅に留まることも可能です。



流速が速いため、木造 家屋は倒壊するおそれ があります



地面が削られ家屋は建 物ごと崩落するおそれ があります



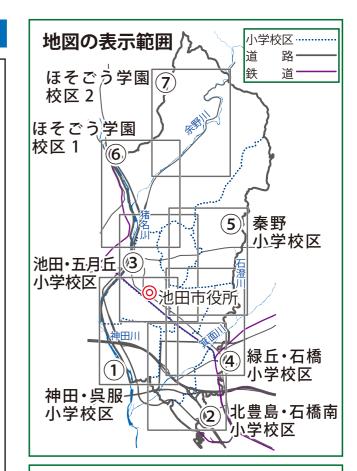
早期に立退き避難が必要な区域 (家屋倒壊等氾濫想定区域)

② 浸水深より居室は高い 5mDXLE



3 水がひくまで我慢でき る、水・食料等の備えは 十分







指定一般避難所兼 指定緊急避難場所

九 指定緊急避難場所

一時避難地

名称を 広域避難地 緑色で記載

指定福祉避難所

防災行政無線



マンダーパス

◆ 医療

▲ 水位観測所 └─ ライブカメラ 浸水する区域等にある
亜和度★利用サラー 要配慮者利用施設 備 備蓄倉庫

● 土のうステーション

水 水防倉庫

******* 小学校区界

(市役所

一·· 市境界

/ 消防署

⚠ 消防団詰所

浸水深

早期に立退き避難が 必要な区域 5.0m 以上 (家屋倒壊等氾濫想定区域)

3.0 ~ 5.0m 未満 ──0.5 ~ 3.0m 未満

____0.5m 未満

木造家屋が倒壊するような堤防決壊 等に伴う氾濫流が発生するおそれが ある、家屋が倒壊するような河岸侵 食の発生するおそれがある区域。

※内水については、 浸水深 0.1m 未満は 表示していません。

/// 浸水継続時間 (1日以上3日未満)

土砂災害

土砂災害 警戒区域

土砂災害 特別警戒区域

出典:内閣府「避難情報に関するガイドラインの改訂(令和3年5月)」

23